

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

第3章 基本理念・目標

基本目標1	多様な主体が参加できるスポーツの機会の創出・提供
基本目標2	スポーツを通じた共生社会の実現
基本目標3	誰もが気軽にスポーツに親しめる環境の構築
基本目標4	市の特性を生かしたスポーツの推進
基本目標5	スポーツに親しめる場の提供

第4章 具体的な施策の展開

基本目標1 多様な主体が参加できるスポーツの機会の創出・提供  
 ~ライフステージ・ライフスタイルに応じた活動機会の充実~  
 スポーツにはウォーキングや体操などの比較的軽い運動から、競技性の高い種目、また、楽しみながら身体を動かすレクリエーションなど、多種多様な種目があります。  
 誰もが生涯を通じてスポーツを身近に感じ、親しみ楽しむことができるよう、年齢や体力レベル、障害の有無などに応じた様々なスポーツ活動の機会を創出、提供し、スポーツ活動を推進します。

(1) 身近にスポーツを楽しむきっかけづくり  
 ライフステージ・ライフスタイルなどに応じ、その時々楽しめるスポーツ教室の開催や、健康増進などに関する情報を発信するなどして、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、スポーツを行うきっかけをつくります。また、日頃の成果を発揮する場として広く市民が参加できるスポーツ大会などを開催します。

ア スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
教室の開催	様々なニーズに対応できるよう、多様なプログラムを提供し、誰もがスポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①ニュースポーツの普及事業 スポーツ推進委員主催により実施した。 ペタンク体験教室は8回開催 ②総合型地域スポーツクラブ事業を本年実施した。 ・アスポルト事業(798回) ・五日市クラブ事業(1,099回) ③指定管理事業スポーツ教室実施を本年実施した。 ・秋川体育館年間事業(395回) ・五日市ファインブラザ年間事業(802回) ・市民プール年間事業(490回)	①ペタンク体験教室 市内在住者・在勤者・在学者 ②総合型地域スポーツクラブ事業 ・アスポルト事業 各種目により異なる ・五日市クラブ事業 各種目により異なる ③指定管理事業 ・秋川体育館年間事業 各種目により異なる ・五日市ファインブラザ年間事業 各種目により異なる ・市民プール年間事業 各種目により異なる	①ペタンク体験教室 89人 ②総合型地域スポーツクラブ事業 ・アスポルト事業 4,050人 ・五日市クラブ事業 7,724人 ③指定管理事業 ・秋川体育館年間事業 2,855人 ・五日市ファインブラザ年間事業 7,328人 ・市民プール年間事業 4,650人	①は前年度(64人)から微増となっている。 ②は事業の見直し等により、参加者数の減少が見られるため、引き続き、相談及び支援を行う必要がある。 ③は参加者数の増もあり、事業の定着が見られるが、周知方法等を指定管理者と相談していく必要がある。	①②③市の事業、総合型地域スポーツクラブ及び指定管理者事業においては、教室参加者数及び教室数が、教室によって、増減が様々であるため、状況を見極めて、参加者が多い教室については、継続して実施し、参加者が減少している事業については、見直し等をしていきたい。	①ニュースポーツの普及事業 スポーツ推進委員主催により実施する。 ペタンク講習会は年8回開催予定。 ②総合型地域スポーツクラブ事業を本年実施する。 ③指定管理事業 スポーツ教室を本年実施する。	スポーツ推進課
		④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施した。地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康のフアンポイントを実施、病態別に健康づくり教室等を開催した。 ⑤めざせ健康あきる野21推進事業 「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、「ふれあいウォーク」を実施した。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・市内在住者、在勤者 ⑤ふれあいウォーク 全年齢対象	④地域健康教育 1,078人 ホームページ等による健康教育 20回 健康教育(骨粗しょう症検診) 289人 健康づくり教室 104人 ⑤ふれあいウォーク 109回から114回まで 120人※中止1回	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・若い世代、働き盛り世代の申込み、参加者が少ない。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。 ⑤ふれあいウォーク コロナ禍以前と比較すると参加者が減少している。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 市広報紙、市ホームページに加え、メール等での周知を行い、はがきや電話に加え、電子申請での申し込みを実施した。本年を通して計画的に教室を開催しており、今後も継続して実施する。 ⑤ふれあいウォーク リピーターが多く新規参加者が増えない。周知方法等の再検討が必要。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 健康づくり教室の開催や資料配付、市ホームページ等を通じて、生活習慣病予防やその他健康に関する事項について、正しい知識の普及を行っていく。 ⑤ふれあいウォーク 「めざせ健康21」健康増進計画推進事業の一環として、ふれあいウォークを行う。(年6回実施予定) また、新規の参加者を獲得するため、SNS、ホームページ等活用し、次回の日程、コース等を事前に掲載し、周知する。	健康課
情報の発信	家庭で気軽に実施できるスポーツや軽運動の情報などを発信する。	①市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページを活用し、スポーツ教室等の情報発信を継続的に実施した。 ②スポーツ施設利用案内により、施設の周知及び利用方法をお知らせした。	-	-	①②家庭で気軽にできる内容のスポーツ教室等の実施は行ったが、情報発信等について検討をする必要がある。	①②市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページについては、利用者にもわかりやすいような情報発信を継続する。	①市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページを活用し、スポーツ教室等の情報発信を継続的に実施する。 ②スポーツ施設利用案内により、施設の周知及び利用方法をお知らせする。	スポーツ推進課
		③めざせ健康あきる野21推進事業 「ウォーキングⅡ班」では、市ホームページにおすすめのウォーキングコースやマップ、「歩いて健康づくり」記録表を掲載し、記録表を提出した人には記念品を贈呈した。	-	-	③ふれあいウォーク ・ホームページでの紹介のため、活用している人数、効果が把握しづらい。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	③ふれあいウォーク ふれあいウォークに参加できない人もウォーキングコースやマップを紹介することで、1人でもウォーキングを行うきっかけとなっている。	③ふれあいウォーク 「ウォーキングⅡ班」では、ホームページにおすすめのウォーキングコースやマップ、「歩いて健康づくり」記録表を掲載している。また、新規の参加者を獲得するため、SNS、ホームページ等活用し、次回の日程、コース等を事前に掲載し、周知する。	健康課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

スポーツ大会やイベントの開催	大会やスポーツイベントなどを開催し、市民相互の交流を深め、スポーツ推進活動の活性化を図る。スポーツに親しみ、健康な心身を培うため定められた「スポーツの日」を記念し、市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、施設の開放やイベントなどを実施する。	①NPO法人あきる野市スポーツ協会、教育委員会で共催し、加盟団体が主管して開催する競技大会を実施した。(8月～3月) ②スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ及び指定管理者と連携し、スポーツの日スポーツフェスティバルを実施した。	①あきる野市総合スポーツ祭 市内在住者 ②スポーツの日スポーツフェスティバル 市内在住者・在学者	①あきる野市総合スポーツ祭 31団体 4,123人 ②スポーツの日スポーツフェスティバル 15団体 1,239人	スポーツ大会やイベントをはじめ、多くの市民がスポーツを楽しめるよう、周知方法や事業内容について改善を図りながら、引き続き事業を実施する必要がある。	スポーツ大会やイベントについては、参加者数は増加傾向にあるが、スポーツ活動の定着に向けて、参加者のニーズに合った内容を検討していく必要がある。	①NPO法人あきる野市スポーツ協会、教育委員会で共催し、加盟団体が主管して開催する競技大会を実施している。(8月～3月) ②スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ及び指定管理者と連携し、スポーツの日スポーツフェスティバルを実施した。	スポーツ推進課
健康の増進	スポーツと健康との関連情報を提供するなどして、スポーツを習慣化する人を増やし、健康増進を図る。	健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施した。 ・地区・ブロック活動 ・太極拳講座、フラストレッチ体験会、ポッチャ ・町内会・自治会単位活動 ウォーキング、体操、グラウンドゴルフ	健康づくり市民推進委員会 市内在住者・在勤者	健康づくり市民推進委員会 ・地区・ブロック活動 290人 ・町内会・自治会単位活動 2,279人	健康づくり市民推進委員 健康づくり市民推進委員の人数が減少しているため、活動内容、実施方法等を検討する必要がある。	健康づくり市民推進委員 年齢、性別問わず実施できる活動内容等を健康づくり市民推進委員に助言し、健康増進を図る。	健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施する。	健康課

イ スポーツを「みる」機会の充実

内容	概要	令和6年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の取組における課題	担当課の評価	令和7年度の取組	担当課
			対象者	参加者数				
パブリックビューイング	市内在住のトップアスリートが出場する国際大会などでは、市民一同が集い、大型の映像装置を利用して応援する機会(パブリックビューイング)を設け、スポーツの持つ一体感やスポーツへの関心を高める契機をつくる。	パブリックビューイングを実施する機会がなかった。	-	-	パブリックビューイングをする機会に備えて、事前準備しておく。	パブリックビューイングをするスポーツ大会の機会には限りがあるため、その機会に備えて、準備をする必要がある。		スポーツ推進課
トップアスリートとの交流イベントの開催	元プロスポーツ選手や実業団のスポーツチームを招いたイベントの実施に向け取組を進める。	秋川流域小・中学校駅伝大会において、陸上選手の高橋和佳奈氏(パリオリンピック代表)をゲストに呼び、講習会を実施した。	秋川流域(あきる野市・日の出町・檜原村)の小・中学生	秋川流域小・中学生駅伝大会 事前講習会(12回) 324人	有名選手の招致及び選定	講習会実施については、概ね予定通りであった。	秋川流域小・中学校駅伝大会において、トップ選手をゲストに呼び、講習会を実施する。	スポーツ推進課

(2) 子どものスポーツ活動の推進  
 人生100年時代を迎えるに当たり、生涯を通じて健やかに過ごすためには、運動・スポーツを通じて健康増進や健康寿命の延伸を実現することが必要不可欠であるとされており、運動習慣形成には幼児期の経験が重要であると言われています。また、スポーツ庁における「体力・運動能力調査」では、成人のスポーツ習慣と、小学生時に運動を楽しんでいたことには強い相関が認められています。さらに、小学生時に運動を楽しんでいた子どもは、未就学時の外遊び回数が多いことが指摘されています。このように、幼児期の運動習慣づくりは、子どもの体力向上はもとより、成人以降のスポーツ習慣や高齢期以降の健康の保持にも大きな影響を及ぼすものであることから、幼児期からの望ましい運動習慣の形成に取り組む必要があります。生涯にわたってスポーツに親しみながら豊かなライフスタイルを形成する習慣、意欲、能力を育てるために、子どもや親子で一緒に楽しめるスポーツ事業を実施します。

スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の取組における課題	担当課の評価	令和7年度の取組	担当課
			対象者	参加者数				
教室の開催	子どもや親子を対象としたプログラムを提供し、幼児期からスポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①親子開放事業として親子がのびのびと自由に遊べる機会を提供した。	①親子(小学生未満の子どもとその保護者)	①71回実施、11人	①参加者が少なく、ニーズに沿った提供方法を検討する必要がある。	①参加者が少なくなっているが、場の提供として、引き続き実施していきたい。	①親子開放事業として親子がのびのびと自由に遊べる機会を提供する。	スポーツ推進課
		②児童館の健全育成のため、遊び、スポーツなどの場と機会を提供しました。	②幼児から大人	②市内児童館10箇所各児童館の事業としてトランポリン、卓球、サッカー、ダンス、一輪車教室等を実施した。3,968人	②参加者が減少傾向であることから、ニーズに沿った遊びやスポーツなどの機会を検討する必要がある。	②参加者が減少傾向になっているが、引き続き遊びやスポーツの機会や場の提供を実施していきたい。	②各児童館の事業としてトランポリン、卓球、一輪車教室等を実施する。また、児童館指導員には、連絡・研修会を各児童館で行い、スキル向上に努める。	子ども政策課(児童館係)
		③子どもとのコミュニケーション等を目的とした親子で一緒に楽しめる取組を行った。子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあそぼう:年12回実施 子育てひろばにて実施 運動会:年1回実施	③子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあそぼう:就学前の児童とその保護者 子育てひろばにて実施 運動会:就学前の児童とその保護者	③子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあそぼう:228人 子育てひろばにて実施 運動会:67人	③ニーズを捉えた講座を継続的に実施する必要がある。	③プログラム回数増加に伴い、参加者が増えている。課題についても考慮の上、講座等の内容についても検討していきたい。	③子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあそぼう。子育てひろばにて実施予定 運動会	
情報の発信	運動習慣の形成に取り組むきっかけづくりとなる親子で楽しむことができるスポーツ情報などを発信する。	①親子開放等スポーツ施設での活動機会をチラシ等で周知した。	①親子(小学生未満の子どもとその保護者)	-	①チラシ以外の周知活動について、ホームページなどで周知する方法を検討する必要がある。	①施設の窓口で継続的にチラシ等の周知をしており、引き続き実施していく。	①親子開放等スポーツ施設での活動機会をチラシ等で周知した。	スポーツ推進課
		②小学生には、児童館たよりの発行や施設の掲示板を活用した。また、幼児対象事業については、市ホームページや広報紙を活用し、事業の周知及び利用方法をお知らせした。	②幼児から大人	-	②小学生を対象としている事業について、紙媒体と施設の掲示板を活用しているため、SNS等で周知する方法を検討する必要がある。	②事業については、学校区ごとの募集になっているため、児童にわかりやすいような情報発信を継続して行っていく。	②児童館たよりを継続的に発行するとともに、幼児向け事業には、SNSを活用した周知を行う。	

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

スポーツ大会 やイベントの 開催	子どもや親子を対象とした 大会やイベントを開催し、相互 の理解や協調性、交流を 深める機会を提供する。	①子どもすもう大会、秋川流域小・中学校駅伝大会及びドッジボール大会を開催し、子どもの体力向上を図った。 子どもすもう大会：令和6年7月20日 秋川流域小・中学校駅伝大会：令和6年12月14日 ドッジボール大会：令和7年2月15日	①子どもすもう大会：市内小学生 秋川流域小・中学校駅伝大会：秋川流域（あきる野市・日の出町・檜原村）の小・中学生 ドッジボール大会：市内小学2年生～3年生	①子どもすもう大会：232人 秋川流域小・中学校駅伝大会：481人 ドッジボール大会：497人	①参加者のニーズに合わせた事業内容等検討する必要がある。	①それぞれ工夫しての開催となっている。今後も状況に合わせて開催していく必要がある。	①子どもすもう大会（令和7年7月19日）や秋川流域小・中学校駅伝大会（令和7年12月13日）及びドッジボール大会（令和8年2月14日）については、開催予定である。	スポーツ推進課
		②出場学年及びチーム数を見直し、小学校の低学年、高学年及び中学生以上を対象に「あいさつ標語カルタ大会」を開催し、チーム内の相互理解や協調性を育み、地域間の交流の機会を提供した。	②市内の小学1年～6年生、及び中学生以上大人まで	②あいさつ標語カルタ大会 小学1・2・3年生の部：11チーム、33人 小学4・5・6年生の部：12チーム、36人 フリースタイルの部：4チーム、12人	②各学年32チームを上限としたが、参加チーム数が少なかった。	②参加チーム数は少なかったが、参加対象を拡大したことにより、幅広い年齢層の参加を得ることができた。引き続き、本事業を実施する。	②出場部門及びチーム内人数等の実施要綱を整備し、周知活動に取り組み、より多くの参加者が参加できるようにする。	生涯学習推進課
		②児童館の健全育成のため、遊び、スポーツなどの場と機会を提供しました。	幼児から大人	②市内児童館10箇所各児童館の事業としてトランポリン、卓球、サッカー、ダンス、一輪車教室等4,201人	②コロナ禍以前と比較して、事業数と参加者が、減少している。	②コロナ禍で事業が長く中止になっていたため、講師依頼が出来なくなっている。今後も状況に合わせて創意工夫していく必要がある。	②各児童館の事業としてトランポリン、ドッジボール、卓球、一輪車教室等を実施する。	子ども政策課（児童館係）
スポーツに親 しむ機会の創 出・提出	未就園児に対する保育園の園庭開放、学校施設の開放、放課後子ども教室の実施などにより、スポーツに親しむ機会を提供する。また、勝敗を競う競技スポーツではなく、個々人の目的に合わせて、体を動かすことを楽しむことができる機会を創出し提供する。	①市内の小・中学校施設を平日夜間及び土曜日、日曜日等に開放し、スポーツをする機会を提供した。	①市内在住、在勤、在学する者で10人以上で構成している団体	①196,089人	①引き続き、利用団体が安全に利用できるような環境を整えていく必要がある。	①市内の小・中学校を活用し、スポーツをする機会が提供できているため、引き続き、利用団体が安全に利用できるような環境を整える。	①各学校と連携しながら、市内の小・中学校施設を平日夜間及び土曜日、日曜日等に年間を通して開放し、スポーツをする機会を提供する。	スポーツ推進課
		②保育園の園庭開放を実施した。ただし、園児数減少の関係から、令和5年度途中より毎年作成しているポスターやチラシなどに加え、新たなポスターを作成し、公共施設をはじめ地域への回覧を実施した。	②未就園児とその保護者	②屋城保育園：12人 神明保育園：2人 すぎの子保育園：16人	②新型コロナウイルス5類移行後となり、コロナ以前以上の周知は行っているが、出生児数の減少により、園庭開放等の問合せは少ない。また、園庭開放の時間帯について、夏期は熱中症予防の観点から園児も園庭で遊べない状況となっているが、全体数としては昨年度よりも増加している。	②出生児数の減少や熱中症予防による行事の中止は考えられるが、引き続き周知を継続実施する。	②保育園の園庭開放を実施するが、周知用ポスターやチラシなどの掲示場所の増加や、地域によっては回覧等を行い、周知を継続する。夏期の問合せがあった場合は、園庭の状況等を含め個別対応する。	保育課
		③市内10校で放課後子ども教室を実施し、放課後にサッカー、ドッジボール、バドミントンなどのほか、東京都が行う「専門人材を活用した活動プログラム」のスポーツ教室として、かけっこ及びタグラグビーといったスポーツをする機会を提供した。	③市内公立小学校10校の児童	③放課後子ども教室参加者数：延べ22,945人	③夏期における熱中症の対策が必要である。	③放課後における子ども達の居場所とスポーツをする機会を提供できている。	③夏期における熱中症の対策として、別の曜日に児童を分割する分散実施を行う。	生涯学習推進課
学校における スポーツの充 実と体力の向 上	体育の授業などを通じて、運動好きな子どもや日常から運動に親しむ子どもを増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力の育成を図る。	全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び東京都統一体力テストの調査分析を行い、市における課題等を教育課程に反映した。 各学校が食育に関する年間指導計画を作成し、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる児童・生徒の育成を図った。 東秋留小学校が、「体育健康教育推進校」として、運動やスポーツとの多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインする資質や能力を育成するため、効果的な体育健康教育を実践的に研究し、その効果について、普及啓発を図った。	市内小中学校の体力向上推進委員 16人	・各校における基礎体力向上に向けた日常的な運動の推進 ・学校給食法に基づいた食育に関する授業の充実	・体力の向上、健康の保持増進等の取組について、その成果を分析し、次年度の教育課程に反映させる必要がある。 ・体育健康教育推進校の実践について、研究発表等により各学校に対し、普及促進を図る必要がある。	各校において、日常的な体育・健康教育の推進を実施する。 体育健康教育推進校の研究発表を行い、市内全教員に対し、普及啓発を図る。	指導室	
運動部活動の 地域移行	地域における新たなスポーツ環境の在り方とその構築方法などを検討し実行する。	スポーツ協会に委託し、6月から地域連携移行を開始した。 市内中学校：11部活動 地域指導員：24人	-	-	国や都の動向を踏まえ、地域の特色を生かした取組が必要である。	新たな取組ではあるが、学校、スポーツ協会とスムーズな連携を図り、地域連携移行を開始することができた。	地域連携移行をする市内中学校数を増やし、地域指導員を増加する。	スポーツ推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

(3) 成人のスポーツ活動の推進  
 スポーツ庁における「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果では、年代別スポーツ実施率は、働く世代・子育て世代の20歳代から50歳代で落ち込む傾向があり、また、テレワークの浸透などによる運動不足やそれを一因とする耐糖能異常、脂質異常、高血圧、肥満などの生活習慣病、外出制限などによるメンタル不調の課題が増加しているとされています。本市における市民アンケート結果からも、年代別スポーツ実施率は国と同様に、働く世代・子育て世代の20歳代から40歳代で落ち込む傾向があります。これらスポーツ実施率が低い世代に対して隙間時間などに気軽に行えるスポーツ情報の提供や、夜間のスポーツ教室、託児付のスポーツ教室を開催するなど、年代に応じた幅広いスポーツ事業を実施します。

内容	概要	令和6年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の取組における課題	担当課の評価	令和7年度の取組	担当課
			対象事業	参加者数				
教室の開催	夜間の時間帯での教室の開催や託児付教室、親子で参加できる教室を開催するなどして、幅広い世代がスポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①秋川体育館及び五日市ファインプラザの託児教室は、昨年度から再開し、令和6年度も実施した。	①・秋川体育館 骨盤コア、ズンバ、はじめてのピラティス ・五日市ファインプラザ フリースタイルダンス、ダンシングズンバ	①・秋川体育館 人数:0人 ・五日市ファインプラザ 人数:0人	①利用者の有無を問わず、開催できる準備を整える必要がある。	①指定管理者と連携しながら、事業の広報周知をする必要がある。	①託児教室の実施については、昨年度と同様に実施する予定である。	スポーツ推進課
		②子どもとのコミュニケーション等を目的とした親子で一緒に楽しめる取組を行った。 子育て講座 親子でヨガ:年3回実施 子育て講座 ママのストレッチ体操:年3回実施 子育てひろばにて実施 親子でバランスボール:年1回実施	②子育て講座 親子でヨガ:1歳の子どもの保護者 子育て講座 ママのストレッチ体操:産後半年から1歳未満までの母親とその子ども 子育てひろばにて実施 親子でバランスボール:1歳までの子どもとその母親	②子育て講座 親子でヨガ:65人 子育て講座 ママのストレッチ体操:60人 子育てひろばにて実施 親子でバランスボール:8人	②ニーズを捉えた講座を継続的に実施する必要がある。	②アンケートにおいて、体を動かす時間がとれて良かった、リフレッシュできたとの声もあり、開催により良い影響を与えることができた。課題についても考慮の上、講座等の内容についても検討していきたい。	②子育て講座 親子でヨガ 子育て講座 ママのストレッチ体操	
情報の発信	スポーツ実施率が低い傾向にある働く世代、子育て世代などに対し、階段利用の推奨や隙間時間などを利用して家庭などで手軽にできるスポーツ情報などを発信する。	窓口において、ウォーキングや軽体操の比較的一つでもどこでも手軽に運動できるチラシ等の周知をした。	-	-	紙ベースの周知以外で、市ホームページなどの周知を検討する必要がある。	各担当窓口において、手軽に運動できるチラシや冊子を掲示し、市民の運動機会を提供していく。	窓口において、ウォーキングや軽体操の比較的一つでもどこでも手軽に運動できるチラシの周知をする。	スポーツ推進課 健康課
健康の増進	生活習慣病の予防改善に役立つスポーツ教室の開催や情報の提供を行い、健康増進を図る。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日(土) ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日(土)	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ・秋のヘルシーウォーキング:10人	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング ・秋のヘルシーウォーキング 実施予定	スポーツ推進課	
		②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施した。 地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康のワンポイントを実施、病態別に健康づくり教室等を開催した。 健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じ指導、助言を行った。 健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施した。 ・地区・ブロック活動 太極拳講座、フラスストレッチ体験会、ポッチャ ・町内会・自治会単位活動 ウォーキング、体操、グラウンドゴルフ	②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室、健康相談 健康づくり市民推進委員会 市内在住者・在勤者	②地域健康教育 1,078人 ホームページ等による健康教育 20回 健康教育(骨粗しょう症検診) 289人 健康づくり教室 104人 健康相談 899人 健康づくり市民推進委員会 ・地区・ブロック活動 290人 ・町内会・自治会単位活動 2,279人	②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・若い世代、働き盛り世代の申込み、参加者が少ない。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。 ○健康づくり市民推進委員 ・コロナ禍以前と比較すると、活動が制限されている。	②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・市広報紙、市ホームページに加えメール等での周知を行い、はがきや電話に加え、電子申請での申し込みを実施した。通年を通して計画的に教室を開催しており、今後も継続して実施する。 ・健康相談 健康相談の利用者数は前年度と比較し、増えている。	②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施している。 健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じて指導及び助言を行い、家庭における健康管理を目的として健康相談を実施している。体組成や健診結果等を確認し、個人の健康状態に合わせた相談者の生活及び食習慣、運動習慣の見直しを支援し、生活習慣病予防・改善を推進している。 健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施している。	健康課

(4) 高齢者のスポーツ活動の推進  
 本市における高齢者人口は引き続き増加が見込まれます。このような中、高齢者の誰もが地域ではつらつと活躍し、生きがいを感じながら生活を送るためには健康であることが求められます。このため、健康寿命の延伸などにつながり、高齢者が参加しやすいスポーツ事業を展開していきます。また、高齢者がスポーツや運動を通じて地域の人々との交流を深め、喜びや生きがいを感じることができるよう、保健福祉分野と連携しながら取組を進めていきます。

内容	概要	令和6年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の取組における課題	担当課の評価	令和7年度の取組	担当課	
			対象者	参加者数					
教室の開催	ウォーキングや軽体操などの教室を開催する。また、高齢者が参加しやすいニュースポーツを中心とした教室を開催し、スポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①スポーツ推進委員主催事業 簡単に行える筋力トレーニングや体をほぐすリラックスストレッチなどの体操・ニュースポーツ体験教室を実施した。	①スポーツ推進委員主催事業 体操・室内ニュースポーツ体験教室:市内在住・在勤・在学	①スポーツ推進委員主催事業 体操・室内ニュースポーツ体験教室:12人	①ニーズを捉えた内容等を検討する必要がある	①前年度から開始した事業であるが、参加人数が増加している。ほかの事業時の周知が影響している。	①スポーツ推進委員主催事業 簡単に行える筋力トレーニングや体をほぐすリラックスストレッチなどの体操・室内ニュースポーツ体験教室を実施する。	スポーツ推進課	
		②(高齢者支援課) はつらつ元気アップ教室 6教室×9クール 頭シャキッと教室 3教室×12クール サロン型介護予防 2施設×週1回	②市内在住の65歳以上の高齢者	②はつらつ元気アップ教室 80人 頭シャキッと教室 40人 サロン型介護予防事業 延べ1,021人	②参加者の固定化。 ・教室の開催場所によっては参加者数の偏り。	②教室参加者の運動に触れる機会を提供し、介護予防に寄与しているが、新規参加者を募るための、周知方法や教室の開催場所について課題があるため、今後検討を進める。	②教室を引き続き開催し、高齢者が運動に触れる機会の提供及び、介護予防に努める。課題については今後も検討していく。		高齢者支援課
		③めざせ健康あきる野21推進事業 「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、第109回～114回 めざせ健康あきる野21 ふれあいウォークを実施した。	③全年齢対象	③めざせ健康あきる野21推進事業 ふれあいウォーク 109回から114回まで 120人※中止1回	③めざせ健康あきる野21推進事業 ・コロナ禍以前と比較すると参加者が減少している。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	③めざせ健康あきる野21推進事業 リピーターが多く新規参加者が少ない。周知方法等、再検討が必要。	③「めざせ健康あきる野21」健康増進計画推進事業の一環として、ふれあいウォークを行う。(年6回実施予定) また、新規参加者を獲得するため、SNS、ホームページ等活用し、次回の日程、コース等を事前に掲載し、周知する。		健康課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

スポーツ大会 やイベントの 開催	グラウンドゴルフやゲート ボール大会を開催するなど し、参加者相互の交流を深 める機会を提供する。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日 (土) ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月 23日(土)	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学	①スポーツ推進委員主催 事業 ・春のヘルシーウォーキン グ:12人 ・秋のヘルシーウォーキン グ:10人	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然 や地形を生かしたコース等を検討 する必要がある。	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキン グをすることで、スポーツの普及 や日頃の健康体力作りのきっかけと なっている。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング ・秋のヘルシーウォーキング 実施予定	スポーツ推 進課	
		②あきる野市高齢者クラブ連合会が10月にグラウ ンドゴルフ大会を開催、単位クラブにおいても地区 ごとにも年に1回から2回大会を実施している。(高 齢者支援課)	②高齢者クラブに所属してい る高齢者	②令和6年度会員数 2,554 人	②会員数が減少傾向にある。ま た、クラブ内において役員の担い手 不足が問題となっている。	②高齢者クラブの定期的な活動とし て取組がなされていることから、多く の団体に交流を深める機会となっ ていると捉えている。	②会員の加入促進等について、あきる野市高 齢者クラブ連合会などの関係機関と連携を図り ながら、改善に努める。	②会員の加入促進等について、あきる野市高 齢者クラブ連合会などの関係機関と連携を図り ながら、改善に努める。	高齢者支援 課
		③地域イキイキ元気づくり事業 地域の会館等で、血圧測定、体操、レクリエーシ ョン、健康のワンポイントアドバイス等を実施した。 また、参加者のフレイル予防、筋力の維持増進を 図るため「貯筋力測定」を取り入れ、握力・バラ ンチェック・足指力・歩幅力等の測定を実施した。	③市内在住者・在勤者	③活動503回 参加者5,377 人	③地域イキイキ元気づくり事業 ・コロナ禍以前と比較すると参加者 が減少している。 ・登録者数が目標値達成してい ない (※目標値 1,350人)	③毎月、新規の参加者も増えてい る。引き続き事業を継続する。	③地域の会館約50か所、月1回、もしくは2か 月に1回実施。骨密度測定、歩行力測定、握力 測定等を実施する。 健康づくり市民推進委員を中心に、町内会・自 治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員など の協力を得て地域の会館などで実施する。	③地域の会館約50か所、月1回、もしくは2か 月に1回実施。骨密度測定、歩行力測定、握力 測定等を実施する。 健康づくり市民推進委員を中心に、町内会・自 治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員など の協力を得て地域の会館などで実施する。	健康課
情報の発信	家庭で実施できる運動や 介護予防、生活習慣病の予 防改善に役立つ運動などの 情報を発信する。	①スポーツ推進課窓口において、ウォーキングや 軽体操の比較的いつでもどこでも手軽に運動でき るチラシ等の周知をした。	-	-	①紙ベースの周知以外で、市ホ ムページなどの周知を検討する必 要がある。	①手軽に運動できるチラシや冊子を 掲示し、市民の運動機会を提供し ていく。	①スポーツ推進課窓口において、ウォーキン グや軽体操の比較的いつでもどこでも手軽に運 動できるチラシ等の周知をした。	スポーツ推 進課	
		②はつらつ元気アップ教室、頭シャキッと教室、サ ロン型介護予防を通じて、情報発信をした。(高 齢者支援課)	-	-	②情報発信の範囲が限定されて いる。	②参加者に対し、教室を通じて情報 発信を行い、活動の機会の創出及 び、介護予防の普及啓発に努めた。 課題を踏まえ、情報発信の拡充を 図る。	②教室での情報発信を継続させなが ら、参加者を通じて家族や友人に、行き渡るような方法 を検討する。また、市ホームページ等への掲載 も検討する。	高齢者支援 課	
		③地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項 について、正しい知識の普及を図ることにより、 健康の保持増進に資することを目的として実施し たため、市ホームページや広報紙で周知をした。 地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康 のワンポイントを実施、病態別に健康づくり教室 等を開催したため、ホームページや広報等で周知 をした。 ・健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じ指導、助 言を行った。	-	-	③地域健康教育、健康教育、健康 づくり教室 (1)若い世代、働き盛り世代の申込 み、参加者が少ない。 (2)市広報紙やインターネットを利 用しない・できない方への情報提供 方法を検討する必要がある。 ・健康相談 市広報紙やインターネットを利用し ない・できない方への情報提供方 法を検討する必要がある。	③地域健康教育、健康教育、健康 づくり教室 市広報紙、市ホームページに加え メール等での周知を行い、はがきや 電話に加え、電子申請での申し込み を実施した。通年を通して計画的に 教室を開催しており、今後も継続し て実施する。 ・健康相談 健康相談の利用者数は前年度と比 較し、増えている。	③・地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事 項について、正しい知識の普及を図ることによ り、健康の保持増進に資することを目的として 実施するため、市ホームページや広報紙で周 知をする。 ・健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じて指導 及び助言を行い、家庭における健康管理を目 的として健康相談を実施している。体組成や健 診結果等を確認し、個人の健康状態に合わせ た相談者の生活及び食習慣、運動習慣の見直 しを支援し、生活習慣病予防・改善を推進す る。	健康課	
スポーツ推進 審議会からの 意見・評価	<p>・ヒアリングシートの表現と評価方法を統一することはできないか。                  ・広報は媒体ごとの効果検証を行い、紙・Web・SNSを併用して新規参加者を増やす工夫を行う。                  ・トップアスリート等の招致やプレス発信を、社行会・表敬訪問・ショート動画等と組み合わせる効果的に周知することはできないか。                  ・ABC評価から担当課の評価に変更したことにより評価が分かりづらくなったのではないか。</p>								

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

基本目標2 スポーツを通じた共生社会の実現  
～パラスポーツの推進～

パラスポーツは、障害の有無に関わらず、誰もが楽しむことができるユニバーサルなスポーツと言えます。この「ユニバーサルスポーツ」の考えの下、様々な状況にある人が「あつまり」、「ともに」、活動し、「つながり」を感じながらスポーツを楽しみ、お互いを理解し支え合うことで、人々の意識を変化させ、共生社会が実現できるよう取組を進めていきます。  
東京2020パラリンピック競技大会や北京2022パラリンピック冬季競技大会では、メディアによる競技の放映が増え、また、本市出身のパラアスリートの活躍などにより、多くの方がその姿に感銘を受けるなど、パラスポーツへの関心が高まっております。これを一過性のものとせず、障害の有無に関わらず誰もが共にスポーツを楽しんだり、観戦を楽しむことができるよう関係機関などと連携し、取組を進めていきます。

ア スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度取組における課題	担当課の評価	令和7年度取組	担当課
			対象者	参加者数				
関係団体との連携による推進	福祉関係団体やパラスポーツ事業の実績のある総合型地域スポーツクラブなどと課題を共有して、事業を企画し、提供する。	障がい者スポーツ教室意見交換会を実施した。(2回)	関係団体委員(一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会、スポーツ推進委員、スポーツ推進課、障がい者支援課)	2回実施合計22人	・障がい者スポーツ教室において、継続的に参加いただいている方がいる一方、新規の参加者が少なく、新規の参加者の増加に向けて検討が必要である。 ・デフリンピックが開催されることなどから、聴覚障害など、新たな参加者や様々な障害をお持ちの方が参加しやすい工夫が必要である。	関係団体委員を含めた意見交換会を実施したことにより、チラシ等の配布やホームページの充実における取組をしたため、来年度はさらなる参加者の増加に向けて、情報発信に努めていきたい。	障がい者スポーツ教室意見交換会を実施予定。	スポーツ推進課
教室の開催	障がい者を対象とした水泳教室や障害の有無に関わらず誰もが参加できるポッチャなどの教室を開催する。	①楽しく安全に水に親しむことができるよう、水泳教室を継続し、障がい児の運動機会の増加を図った。(指定管理者引継ぎ事業) ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 20回開催 ・市民プール 障がい児水泳教室 6回開催 ②障がい者スポーツの理解促進を図り、障がい者が進んでスポーツに取り組むことを目的として、障がい者スポーツ教室を実施した。 5月～2月 秋川体育館ほか ・ポッチャ教室 10回 ・だれでもスポーツ体験教室 8回 ・あきる野わくわくパーク 8回	①指定管理者教室 ・五日市ファインプラザ あきる野市在住・在勤・在学中で小中学生以上で、「愛の手帳」をお持ちの方 ・市民プール あきる野市在住・在勤・在学中で中学生以上で、「愛の手帳」をお持ちの方 ②障がい者スポーツ教室 ・ポッチャ教室 170人 ・だれでもスポーツ体験教室 121人 ・あきる野わくわくパーク 79人	①指定管理者教室 ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 延べ参加人数46人 ・市民プール 障がい児水泳教室 延べ参加人数27人	①障がい児水泳教室については、参加者募集の周知の工夫が必要である。 ②障がい者スポーツ教室においては、開催場所や参加者の固定化、日曜日以外の開催日の検討が必要である。	①令和5年度の実績と比較し、五日市ファインプラザの障がい児水泳教室の回数及び参加者数について、増加していることは評価できる。 ②障がい者スポーツ教室については、意見交換会を実施し、構成団体からの意見において、課題等が把握できた点は評価できる。	①楽しく安全に水に親しむことができるよう、水泳教室を継続し、障がい児の運動機会の増加を図っている。(指定管理者引継ぎ事業) ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 ・市民プール 障がい児水泳教室 ②障がい者スポーツの理解促進を図り、障がい者が進んでスポーツに取り組むことを目的として、障がい者スポーツ教室を実施している。 5月～2月 秋川体育館ほか ・ポッチャ教室 ・だれでもスポーツ体験教室 ・あきる野わくわくパーク	スポーツ推進課
スポーツ大会やイベントの開催	誰もが参加することができるポッチャ大会やイベントなどを通して、参加者相互の交流を深める機会を提供する。	①ポッチャあきる野大会 ②西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタ	①小学生以上の市内在住・在勤・在学者が所属するチーム ②どなたでも	①66人 ②252人	①参加者のニーズに合わせた運営面の工夫が必要である。 ②西多摩市町村と連携し、種目、周知方法などについて検討する必要がある。	①ポッチャあきる野大会参加者チームについては、上限に達する多くのチームの申込があり、福祉施設等に周知をした結果となった。 ②西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタについては、スポーツ推進委員が参加し、障がい者スポーツを指導する上での必要な知識向上の機会となった。	①ポッチャあきる野大会 令和7年10月18日(土) 実施予定 ②西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタ 令和7年11月15日(土)予定	スポーツ推進課
情報の発信	東京都障害者スポーツ協会や都立特別支援学校などで実施される事業や施設の貸出し情報などを発信する。	①スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシや冊子を配布し、周知した。	-	-	窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布し、地域自立支援協議会においても周知しているが、施設の認識が低い状況である。	窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布するだけでなく、様々なツールを活用し、周知していく必要がある。	①引き続き、スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布し、施設の認知度や利用率を高めていく。	スポーツ推進課
		②地域自立支援協議会において情報を発信した。(障がい者支援課)	-	-	窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布し、地域自立支援協議会においても周知しているが、施設の認識が低い状況である。	窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布するだけでなく、様々なツールを活用し、周知していく必要がある。	②地域自立支援協議会において情報を発信する。	障がい者支援課
パラスポーツ指導者の育成	誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、パラスポーツを指導する上で必要となる、普及振興を推進する(戦略担当)人材、活動現場を統括する人材、アシスタントを担う人材を育成する。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。	あきる野市スポーツ推進委員	第1回:15人 第2回:14人	安定した大会運営に向けた、定期的な審判講習会の実施	ポッチャあきる野大会について、円滑に試合を進めるために、一人一人がルールを熟知し、判断できるいい機会となっている。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施する予定。	スポーツ推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

情報の発信	障がい者スポーツ指導員養成講習会やパラスポーツボランティア育成講座などの情報を広く市民に周知する。	スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布し、周知した。	-	-	新たな参加者が増えるよう周知方法の拡大を検討する必要がある。	市スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布だけでなく、様々なツールを活用する。	引き続き、市スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布し、周知していく。	スポーツ推進課
-------	---	--------------------------------------	---	---	--------------------------------	--	--	---------

ウ スポーツを「みる」人材の育成

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
パブリックビューイングの実施	市内在住のトップアスリートが出演する国際大会などでは、市民一同が集い、大型ビジョンで応援する機会(パブリックビューイング)を設け、スポーツの持つ一体感やスポーツへの関心を高める契機をつくる。	パブリックビューイングを実施する機会がなかった。	人	-	パブリックビューイングをする機会に備えて、事前準備しておく。	パブリックビューイングをするスポーツ大会の機会には限りがあるため、その機会に備えて、準備をする必要がある。		スポーツ推進課

スポーツ推進審議会からの意見・評価  
 ・障がいのある参加者や介助者の集計方法を統一し、参加実績を示すことはできないか。  
 ・障がい者スポーツの周知手段の多様化や開催日時・場所の工夫で新規参加者を増やした後に、それがスポーツ実施率向上につながる仕組みの検討が必要である。

基本目標3 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境の構築  
 ～地域団体との連携によるスポーツの振興～  
 スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなど多様な主体と連携し、様々なスポーツ事業を開催するとともに、地域団体の主体的な活動を支援し、スポーツ活動を支える担い手を充実させる取組を推進します。  
 また、ライフステージに応じた指導ができる指導者の育成やボランティアの育成、参加を促進し、地域の自主的なスポーツ活動の振興を図ります。

ア スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
都立のスポーツ施設等が企画するイベントの支援	都立施設が主催するイベントなどに協力するなどして、スポーツに親しめる機会を提供する。	都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行った。(障がい者支援課)	どなたでも参加可能	270人	事業内容の工夫。	スポーツ推進委員や障がい者支援課など、様々な団体との協力によりスポーツの場を提供できている。	・都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行う予定。(スポーツ推進課及び障がい者支援課) 10月25日(土)に実施予定。	スポーツ推進課 障がい者支援課
アーバンスポーツなどの実施環境構築に向けた検討	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携などにより、身近にアーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備などについて検討を行う。	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携が不十分であり、アーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備も十分に進んでいない。	-	-	アーバンスポーツの普及については、市内公立学校との連携が十分に進んでいないことや体験の場づくりや指導体制の整備に課題がある。	アーバンスポーツの設備を有する市内公立学校との調整が不十分であるため、今後連携を進めていく上で、調整していく必要がある。	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携をすすめ、アーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備を進めていく。	スポーツ推進課

イ スポーツを「ささえる」人材の育成

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
スポーツ推進委員活動の活性化	地域スポーツの重要な担い手であるスポーツ推進委員の資質向上に向け各種研修会への参加支援を行う。 また、スポーツ推進委員の活動について広くホームページなどで情報を発信する。	①スポーツ推進委員の資質向上と地域スポーツ推進のため、東京都スポーツ推進協議会等が行う研修会等への参加を支援する。 ②「広域地区別研修会」は、福生市主催により、障害者スポーツ体験を通して、スポーツ推進委員の役割及び指導方法について知識の向上を図った。 8月24日(土) 福生市市民会館 ③・スポーツ推進委員主催事業 年間16回 ・スポーツ推進委員派遣事業 年間18回	①スポーツ推進委員	①4人	①指導資格だけではなく、支える人材や指導者、ボランティア、介助者等についても輪を広げるための課題がある。 ②事業に対する参加者の減少や参加者が固定化している。	スポーツ推進委員によりスポーツを推進するための事業を積極的に実施しているため、今後は、指導資格だけではなく、支える人材等の輪を広げることや参加者のニーズに合わせて事業を実施するなど、事業内容を工夫して実施していきたい。	①スポーツ推進委員の資質向上と地域スポーツ推進のため、東京都スポーツ推進協議会等が行う研修会等への参加を支援する。 ②「広域地区別研修会」は、あきる野市主催により、障がい者スポーツ体験を通して、スポーツ推進委員の役割及び指導方法について知識の向上を図った。令和7年8月23日(土)実施予定 ③スポーツ推進委員主催及び派遣事業を予定している。	スポーツ推進課
地域スポーツ指導者の育成と資質の向上	ライフステージごとの特性を踏まえ、自主性・自律性を促せるような指導ができる質の高いスポーツ指導者を育成する。 本人の希望によらず、けがや不適切な指導などの理由によりスポーツの機会を失うことがないよう、スポーツ実施者の安心・安全を確保する。	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会などでスポーツ教室及び指導講習会等を実施することで、地域スポーツ指導者の能力向上に努めた。	-	-	スポーツ指導者研修の必要性を周知する必要がある。	地域の現状や住民のニーズに応じた指導ができる指導者を育成できる仕組み作りが必要である。	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会などでスポーツ教室及び指導講習会等を実施することで、地域スポーツ指導者の能力向上に努める。	スポーツ推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

<p>パラスポーツ指導者の育成</p> <p>誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、パラスポーツを指導する上で必要となる、普及振興を推進する(戦略担当)人材、活動現場を統括する人材、アシスタントを担う人材を育成する。</p>	<p>ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。</p>	<p>あきる野市スポーツ推進委員</p>	<p>第1回:15人 第2回:14人</p>	<p>安定した大会運営に向けた、定期的な審判講習会の実施</p>	<p>ポッチャあきる野大会について、円滑に試合を進めるために、一人一人がルールを熟知し、判断できるいい機会となっている。</p>	<p>ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施する予定。</p>	<p>スポーツ推進課</p>
<p>スポーツ協会の活動支援</p> <p>スポーツ協会と連携し、加盟団体が行う指導者の育成支援事業を支援する。</p>	<p>スポーツの日スポーツフェスティバルを開催し、施設の無料開放に合わせて各団体に協力を促すことで、団体指導員の技術力の向上及び指導者としての育成を図った。</p>	<p>市内在住・在勤・在学者</p>	<p>384人</p>	<p>施設の無料開放に伴い、団体種目のできる施設においては、団体利用ができなかったため、今後は施設の開放を早めに調整する必要がある。</p>	<p>幅広い市民にスポーツ教室を通して、運動する機会が提供できた。継続的に実施していきたい。</p>	<p>スポーツの日スポーツフェスティバルを開催し、施設の無料開放に合わせて各団体に協力を促すことで、団体指導員の技術力の向上及び指導者としての育成を図った。令和7年10月13日(月)実施予定</p>	<p>スポーツ推進課</p>
<p>総合型地域スポーツクラブの活動支援</p> <p>総合型地域スポーツクラブが地域スポーツのハブ拠点として、持続可能な運営体制の構築が図れるよう、課題を共有して、継続的な支援を行う。</p>	<p>事務所の提供、施設利用の免除、広報活動やチラシの学校配付、市のホームページにおけるお知らせやメール配信などの支援を行った。</p>	-	-	<p>安定したクラブ運営へのサポートを維持する必要がある。</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの活動における支援を引き続き行っていきたい。</p>	<p>事務所の提供、施設利用の免除、広報活動やチラシの学校配付、市のホームページにおけるお知らせやメール配信などの支援を行った。</p>	<p>スポーツ推進課</p>
<p>スポーツボランティアの育成、参加促進</p> <p>スポーツを支える人材として、スポーツボランティアの育成や生涯学習人材バンクを活用し、スポーツボランティアの参加促進を図る。また、各種スポーツ大会やイベントを開催する中で、ボランティアが参加する機会やきっかけをつくり、参加を促進する。</p>	<p>①各種スポーツ大会におけるPTAなどのボランティアを依頼し、大会を実施した。</p>	<p>①各種スポーツ大会 ・子どもすもう大会 ・少年少女ドッジボール大会</p>	<p>①各種スポーツ大会 ・55人 ・37人</p>	<p>①スポーツイベント等におけるボランティアの募集方法や受け入れ方法等のあり方を検討する必要がある。</p>	<p>①PTAなどのスポーツボランティアが参加しているスポーツ大会を実施したが、今後も引き続きスポーツボランティアの活用については必要である。</p>	<p>①スポーツボランティアの参加促進につながる各種スポーツ大会やイベントの開催を検討する。</p>	<p>スポーツ推進課</p>
	<p>②生涯学習人材バンクには、体育・スポーツ分野で5人登録されているが、紹介事例は無かった。</p>	<p>②-</p>	<p>②-</p>	<p>②人材バンク制度についての認知度が低いためか、人材紹介依頼件数が少ない。</p>	<p>②人材バンクの活用件数は少ないが、地域活動を支援するスポーツ指導者の存在は大きいと考える。</p>	<p>②人材バンクの活用に向けて周知を図る。</p>	<p>生涯学習推進課</p>
<p>スポーツ推進審議会からの意見・評価</p>	<p>・中学校の部活動地域展開のニーズ把握を進め、指導者確保や地域展開を推進する。 ・児童館等の児童向け事業のニーズ把握を進め、プログラムを検討する。</p>						

基本目標4 市の特性を生かしたスポーツの推進  
～スポーツによるまちづくり～

市民がスポーツへの関心を高め、心身の健康増進や体力の向上を図る活動を手軽かつ継続的に取り組めるよう、地域の豊かな自然環境を生かしたウォーキングやアウトドアスポーツなど、市の特性を生かしたスポーツ活動を推進するとともに、「あるきたくなる街あきる野」を目指したまちづくりを運動して推進します。  
また、あきる野市在住・出身のトップアスリートと連携し、スポーツによるまちづくりを推進します。

スポーツを「する」機会の充実・スポーツによるまちづくり

内容	概要	令和6年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の取組における課題	担当課の評価	令和7年度の取組	担当課
			対象者	参加者数				
あきる野市の特性を生かしたイベントの開催	本市の恵まれた自然環境を生かしたスポーツイベントを行っていきます。また、スポーツ活動を行うきっかけとなるような、多くの市民が参加することができるイベントの開催について検討する。	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日(土) ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日(土)</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング: 市内在住・在勤・在学</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング: 12人 ・秋のヘルシーウォーキング: 10人</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 実施予定 ・秋のヘルシーウォーキング</p>	<p>スポーツ推進課</p>
		<p>②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、以下のとおりトレイルランニングレースが実施された。(観光まちづくり推進課) ・第32回日本山岳耐久レース(24時間以内)～「長谷川恒男Cup」 開催日: 令和6年10月13日(日)～14日(月) 場所: 五日市会館周辺(スタート・ゴール地点)及び奥多摩山城 ・第17回ハセツネ30K 開催日: 令和7年3月30日(日) 場所: 小和田周辺(スタート・ゴール地点)及び戸倉三山周辺</p>	<p>②満16歳以上など諸条件を満たした大会申込者</p>	<p>②第32回日本山岳耐久レース 参加者: 1,818人 第17回ハセツネ30K 参加者: 1,340人</p>	<p>②近隣住民から音楽やアナウンスの騒音についての苦情が入るなど、一部運営事務局のマナー違反が見受けられた。(令和6年度は観光まちづくり推進課から運営事務局に注意喚起を行った。)</p>	<p>②近隣住民から音楽やアナウンスの騒音についての苦情が入るなど、一部運営事務局のマナー違反が見受けられた。(令和6年度は観光まちづくり推進課から運営事務局に注意喚起を行った。)</p>	<p>②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、トレイルランニングレースが実施予定である。 ・第33回日本山岳耐久レース(24時間以内)～「長谷川恒男Cup」 開催日: 令和7年10月12日(日)～13日(月) 場所: 五日市周辺(スタート・ゴール地点)及び奥多摩山城 ・第18回ハセツネ30K 日程等調整中</p>	<p>観光まちづくり推進課</p>
		<p>③「あきる野を知り隊(農ウォーク)」を実施した。(農林課) 令和6年12月14日に、秋川ファーマーズセンターを起点に東秋留地区周辺農地において開催した。</p>	<p>③市内在住・在勤・在学者</p>	<p>③19人</p>	<p>③毎回、協力農家の選定に苦慮している。</p>	<p>③農作物の収穫体験は、毎回好評で参加者に喜ばれていることから、農業を知ってもらうことや農家とのコミュニケーションも図ることができ、目的は達成されたと評価している。</p>	<p>③「あきる野を知り隊(農ウォーク)」については、今後も開催予定。</p>	<p>農林課</p>

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

<p>アウトドアスポーツの推進</p>	<p>本市の豊かな自然の中で、登山、トレッキング、トレイルラン、フリークライミング、ボルダリングなどのアウトドアスポーツが行われている。これら市の特性を生かしたアウトドアスポーツを推進するとともに、更に多くの人に周知することで、まちのイメージアップを図る。</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日(土) ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日(土) ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、以下のとおりトレイルランニングレースが実施された。(観光まちづくり推進課) ・第32回日本山岳耐久レース(24時間以内)～「長谷川恒男Cup」 開催日:令和6年10月13日(日)～14日(月) 場所:五日市会館周辺(スタート・ゴール地点)及び奥多摩山城 ・第17回ハセツネ30K 開催日:令和7年3月30日(日) 場所:小和田周辺(スタート・ゴール地点)及び戸倉三山周辺 ③豊かな自然を堪能できるハイキングコースを掲載した観光パンフレットを計11万部作成し、武蔵五日市駅観光情報コーナー等で配付した。(観光まちづくり推進課)</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ②満16歳以上など諸条件を満たした大会申込者 ③-</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ②第32回日本山岳耐久レース 参加者:1,818人 ・第17回ハセツネ30K 参加者:1,340人 ③-</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・近隣住民から音楽やアナウンスの騒音についての苦情が入るなど、一部運営事務局のマナー違反が見受けられた。(令和6年度は観光まちづくり推進課から運営事務局に注意喚起を行った。) ②近隣住民から音楽やアナウンスの騒音についての苦情が入るなど、一部運営事務局のマナー違反が見受けられた。(令和6年度は観光まちづくり推進課から運営事務局に注意喚起を行った。) ③自然環境に配慮したアウトドアスポーツが実施されていない可能性がある。 ④概ね予定どおりに事業を実施した。</p>	<p>①スポーツ推進委員主催事業 ・四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。 ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、トレイルランニングレースが実施予定である。 ・第33回日本山岳耐久レース(24時間以内)～「長谷川恒男Cup」 開催日:令和7年10月12日(日)～13日(月) 場所:五日市周辺(スタート・ゴール地点)及び奥多摩山城 ・第18回ハセツネ30K 日程等調整中 ③豊かな自然を堪能できるハイキングコースを掲載した観光パンフレットを計11万部作成し、武蔵五日市駅観光情報コーナー等で配付した。</p>	<p>スポーツ推進課  観光まちづくり推進課  観光まちづくり推進課  スポーツ推進課  健康課  スポーツ推進課</p>	
<p>楽しく歩けるまちづくりの推進</p>	<p>市民や市外から訪れた方が快適に過ごせるように、観光駐車場や公衆トイレ機能の充実を図るなど、観光部門と連動して取組を進める。</p>	<p>公衆トイレについて、利用者が快適に過ごせるように、故障等が発生したら速やかに修理した。また、ゴミの廃棄等の悪質な利用を防ぐために、張り紙により注意喚起した。(観光まちづくり推進課)</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>一部のトイレについて、老朽化により清潔さに欠ける状態となっている。</p>	<p>概ね予定どおりに事業を実施した。</p>	<p>・養沢神社トイレについて、東京都と連携し、令和7年度中に建替えが完了する予定である。</p>	<p>観光まちづくり推進課</p>
<p>情報の発信</p>	<p>年齢や体力レベルなどに応じたウォーキングコースを設定し、ホームページで紹介するなどし、スポーツ活動を行うきっかけづくりを行う。</p>	<p>①過去に実施したヘルシーウォーキングのコースをホームページに掲載した。 ②めざせ健康あきる野21推進事業「ウォーキングII班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、めざせ健康あきる野21ふれあいウォークを実施しており、ホームページに掲載した。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>・掲載しているコースも偏りがある。 ・市広報紙やインターネットを利用しないできない方への情報提供方法を検討する必要がある</p>	<p>・リピーターが多く新規参加者が少ない。周知方法等、再検討が必要。 ・2か月に1回を基本に開催し、天候の影響はあったものの、年5回実施した。</p>	<p>①過去に実施したヘルシーウォーキングのコースをホームページに掲載する。 ②めざせ健康あきる野21推進事業「ウォーキングII班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、第115回～120回めざせ健康あきる野21ふれあいウォークを実施し、ホームページに掲載する。</p>	<p>スポーツ推進課  健康課</p>
<p>トップアスリートとの連携</p>	<p>あきる野市在住・出身のトップアスリートと連携し、アンバサダーとして、スポーツの推進や市のイメージアップを図る。</p>	<p>あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、市のイメージアップが図れるよう、協力依頼を進めていく。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、協力依頼ができていない。</p>	<p>あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、協力依頼を検討する必要がある。</p>	<p>全国大会等に出場した団体や選手等をプレスリリースし、活動を紹介する。 また、あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、市のイメージアップが図れるよう、協力依頼を進めていく。</p>	<p>スポーツ推進課</p>
<p>スポーツ推進審議会からの意見・評価</p>	<p>・トップアスリート・アンバサダーの活用を進め、まちづくりと連動した周知・誘致策を整備することはできないか。</p>							

基本目標5 スポーツに親しめる場の提供  
～スポーツをする場の整備・確保～

誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向け、引き続き学校施設の開放や既存施設等の整備・充実など、スポーツに親しむ場の整備を行うとともに、指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上に努めていきます。  
また、都立秋留台公園や都立特別支援学校などと連携を図り、スポーツ活動の場の確保に努めていきます。

(1) 既存のスポーツ施設等の整備・充実

既存のスポーツ施設については、経年による老朽化が進んでおります。また、人口減少、少子高齢化が進む中で、今後の施設の在り方を検討していく必要がある。

スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
<p>市立のスポーツ施設等の管理・整備</p>	<p>あきる野市公共施設等個別施設計画に基づき、スポーツ施設等の状態を把握し、計画的に施設の管理・改修等を実施する。また、スポーツ施設の改修等に合わせ、地域住民が集まりやすく、誰もが気軽に活動できる地域スポーツ拠点となるよう、施設のユニバーサルデザイン化の推進やスポーツ後などに市民が交流できるスペースの設置など、設備の充実について検討する。</p>	<p>・秋川体育館については、大、小体育室及び武道場の床改修工事等を実施した。 ・五日市ファインプラザについては、地下シャワー室混合水栓等の修繕を実施し、不具合の改善を行った。 ・市民プールについては、全熱交換器改修工事を行った。 ・その他の施設においては、管理人や職員による点検を行い、不具合が見つかった箇所について、修繕を実施し、維持管理に努めた。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>不具合箇所については、早期に見出し、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、計画的に施設の維持管理を進める必要がある。</p>	<p>各施設において設備の老朽化が著しく、不具合が頻繁に多発している状況であり、その都度修繕している状況である。引き続き、不具合が生じている箇所については、修繕していく必要がある。</p>	<p>・市民プールにおいては、高圧引込設備、キュービクル内高圧設備更新及び塗装工事を実施予定。 ・その他の施設においては、管理人や職員による点検を行い、不具合が見つかった箇所について、修繕を実施し、維持管理に努める。</p>	<p>スポーツ推進課</p>

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和6年度実績及び令和7年度取組状況検証 ヒアリングシート

学校施設等の開放	引き続き、市立小中学校の校庭及び体育館などについて、夜間照明のLED化など、計画的な改修を行い、地域のスポーツ活動の拠点として利用しやすい施設となるよう、更に充実を図る。	①市立小中学校の校庭夜間照明においては、夜間照明等への落雷による分電盤故障や鳥の巣による危険性があったため、早急に分電盤等の修繕及び巣の撤去を実施した。 ②照明設備LED化改修事業計画に基づき「あきる野市立小・中学校空調設備更新及び照明器具LED化業務委託(債務負担行為)」を実施した。	-	-	①不具合箇所については、早期に発見し、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、計画的に施設の維持管理を進める必要がある。 ②-	①学校開放事業における不具合等については、早急に対応しているため、引き続き、不具合がある場合には、早急に対応する必要がある。 ②概ね予定どおりに実施できた。	①市立小中学校の校庭の夜間照明において、照明支柱の塗装を実施予定。また、分電盤等の故障や鳥の巣による危険性がある場合には、早急に対応する。 ②照明設備LED化改修事業計画に基づき「あきる野市立小・中学校空調設備更新及び照明器具LED化業務委託(債務負担行為)」を実施している。	スポーツ推進課 教育総務課(施設営繕課)
指定管理者との連携による施設の充実	施設利用者からの意見や要望をアンケートなどにより把握し、施設・設備の改善や、運用方法の見直しなどを行い、より利用しやすい施設となるよう、指定管理者と連携した取組を進める。	各指定管理者施設に意見箱を用意し、施設利用者に意見や要望のアンケートを実施した。	各施設利用者	・秋川体育館17人 ・五日市ファインプラザ19人	施設の老朽化による修繕の要望や教室の増設等の意見がある。	課題に対して、対応可能な要望や意見から対応している点が評価できる。	引き続き、各指定管理者施設に意見箱を用意し、施設利用者に意見や要望のアンケートを実施する。	スポーツ推進課

(2) 都立特別支援学校などと連携したスポーツ活動の場の提供  
都立施設や民間事業者と連携し、市民の誰もがスポーツに親しめる場の確保に努めるとともに、都立施設などが主催する事業の周知活動を行うなどして、スポーツに親しめる場の情報を発信していきます。

スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和6年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和6年度の実績における課題	担当課の評価	令和7年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
都立のスポーツ施設等の情報の提供	都立施設の開放情報や都立施設が主催するイベント情報などを市のホームページなどで周知する。	①都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の周知を広報紙で行った。	①ユニバーサルスポーツ祭	①ユニバーサルスポーツ祭:270人	①ユニバーサルスポーツ祭については、広報紙での周知は実施しているが、ホームページでの周知等については課題があるためホームページの作成が必要である。	①ユニバーサルスポーツ祭については、市内の都立公園での事業のため、周知においても協力し、参加者増加に努める。	①都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行う予定。10月25日(土)に実施予定。 ②都立施設が主催するイベントの周知を地域自立支援協議会を通じて行う。	スポーツ推進課
		②地域自立支援協議会において周知した。(障がい者支援課)						障がい者支援課
民間事業者との連携	民間事業者と連携し、民間事業者が持つ施設等を活用した取組を検討し実施する。	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会が無かった。	-	-	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会がなかったため、次年度以降支援する機会に備える必要がある。	民間事業者と連携し、お互いの持つ施設等を有効活用できる取組を検討する。	スポーツ推進課

スポーツ推進審議会からの意見・評価  
・既存施設の老朽化対策を計画的に進める必要がある(優先順位・修繕計画の明確化)。  
・学校プール等の再編は、統合時のアクセス・利用可否を含め市民に早めに示せないか。  
・指定管理者と連携した利用者要望の収集・反映と、多機能化(避難所等)を考慮した施設整備を進めてほしい。